

今週（7月20日から7月24日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズが強く、出会いの水準は0.977～0.978%が中心となった。今週は試し取りを行う先が多く、加重平均レートは0.977%からやや上振れる日も見られ、週初21日は0.977%、22日は0.978%、23日は0.980%。本日の出会いは0.977%が中心となった。

ターム物は、7月末の金融政策決定会合に対する警戒感は見られず、1W～1M程度のタームで1.05～1.10%程度の出合い。ロングタームについては一部報道で利上げの早期化観測があったものの、水準感を変えるような動きは見られず3Mで1.20～1.25%程度での引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初は436兆円程度で始まり、週内に大きな増減はなく本日は439兆円台での着地が予想される。

●債券レポ市場

今週の債券レポ市場GC T/N物の出会い水準は、概ね1.005%程度での推移となった。

SC個別銘柄では、カレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6M、1Yゾーンが軟調に推移した。

24日に実施された3M物入札は予想対比で甘い結果となり、セカンダリーでは軟調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、小売業、鉄鋼、電気機器など、複数の業態で大型発行が行われた。

市場残高は、26兆円台半ばと先月末からは2兆円程度の増加となった。

発行レートは、1%以上で推移し、銘柄や投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
7/20 (月)						
7/21 (火)	66,232.19	2.720	162.51	0.977	1.000	4,366,800
7/22 (水)	66,115.60	2.735	163.15	0.978	1.000	4,363,700
7/23 (木)	66,422.60	2.770	163.06	0.980	1.000	4,378,300
7/24 (金)	64,611.15	2.814	163.93	0.977	1.000	4,393,700

翌週（7月27日から7月31日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー （※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
7/27 (月)	6月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) 5月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)			交付税借入 8/5借入 12,000億円	6月の米耐久財新規受注
7/28 (火)			流動性供給 7/29発行 6,500億円		米FOMC(1日目) 7月の米CB消費者信頼感指数 5月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数
7/29 (水)				交付税借入 8/7借入 12,000億円	米FOMC(2日目)
7/30 (木)	日銀金融政策決定会合(1日目14:00～) 7月の消費動向調査(内閣府 14:00)	TDB3M物 8/3発行 38,000億円	2Y物 8/3発行 28,000億円		英中銀MPC 4-6月期の米GDP速報値 6月の米個人消費・所得支出(PCE) 4-6月期のユーロ圏GDP1次速報値
7/31 (金)	日銀金融政策決定会合(2日目9:00～) 日銀総裁定例会見(15:30) 経済・物価情勢の展望 6月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 7月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 6月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 6月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 6月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50)				7月のシカゴPM景況感指数 7月のユーロ圏消費者物価指数速報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/27 (月) 日銀予想	100	10,000	10,100	社債等買入	▲ 100		▲ 100	10,000	TDB3M発行▲38,000 償還46,000
7/28 (火) 弊社予想	100	▲ 1,000	▲ 900				0	▲ 900	
7/29 (水) 弊社予想	0	▲ 6,500	▲ 6,500				0	▲ 6,500	流動性供給▲6,500
7/30 (木) 弊社予想	0	2,000	2,000				0	2,000	交付税借入▲11,000期日13,000
7/31 (金) 弊社予想	▲ 500	1,200	700				0	700	

●短期金融市場の見通し

無担保コールON物は、週末に金融政策決定会合を控えるものの、無風通過が予想されていることから、概ね0.977%程度での推移が予想される。債券レポ市場は、GC T/N物のレートは1.005%程度の水準で推移することが見込まれる。短国市場は、7月30日(木)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、7/29に月末発行集中日が予定されており、動向が注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では27(月)に6月の企業向けサービス価格指数、5月の景気動向指数改訂状況、30-31日に日銀金融政策決定会合、31(金)に経済・物価情勢の展望、7月の都区部消費者物価指数、6月の鉱工業生産・出荷・在庫速報などが公表予定である。海外では28-29日にFOMC、28(火)に7月の米CB消費者信頼感指数、5月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数、30(木)に英中銀MPC、4-6月期の米GDP速報値、6月の米個人消費・所得支出、4-6月期のユーロ圏GDP1次速報値、31(金)に7月のユーロ圏消費者物価指数速報値などが公表予定である。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。